

かけがわ

市議会だより

平成30年2月定例会の内容をお知らせします。

第 63 号

平成 30 年 5 月 1 日

シリーズ
第4回

おもな内容

市議会って？	2 ページ
平成 30 年度当初予算の概要	4 ページ
平成 29 年度一般会計補正予算（第 5 号）の概要	5 ページ
常任委員会の議論から	6 ページ
意見書を提出	7 ページ
一般質問	8 ページ
審議結果一覧	13 ページ
掛川市議会政策提言	14 ページ
特別委員会委員長報告	15 ページ
傍聴席／6月定例会の予定	16 ページ



シリーズ “市議会って?” 4

市議会って何をするとところ？
市議会議員はどんな仕事をしているの？
素朴な疑問にシリーズでお答えします。



茶のみやきんじろう
©掛川市

◎ **かい は 会派** とは、市政について同じ考えや意見をもつ議員同志が集団(グループ)をつくって活動し、自分たちの考えを効果的に市政に伝えるための集団のことをいいます。
掛川市議会には、現在、以下の6会派があります。

※()内は所属議員数

そうせい かい 創世会 (11人)	共に創る掛川 (6人)	し せい 至誠の会 (1人)
し せい かい 志誠会 (1人)	公明党かけがわ (1人)	日本共産党 (1人)

会派は、2人以上の議員が所属することが原則ですが、掛川市議会では所属議員が1人の会派も、一部権限に制限がありますが、認めています。

会派の代表が市長に問う 注目

掛川市議会では初となる「代表質問」を実施

3月5日に掛川市議会では初となる「代表質問」を行いました。「創世会」及び「共に創る掛川」の2会派の代表議員が、市長の施政方針、新年度予算に関して質問しました。

代表質問とは？

会派を代表して行う質問のことを「代表質問」といいます。

掛川市議会では、平成30年から、2人以上の所属議員を有する会派に限り、新年度予算案が提出される3月(2月)定例会において、質問できることとしました。

質問内容は、市長の施政方針及び予算の大綱的な質問とする。また、代表質問した議員は一般質問ができない等の申し合わせとなっています。





〈質問者〉
大石 勇
議員

前年度比縮小予算となったが、今後の予算のあり方は

Q 公共施設の維持管理への投資は縮小予算で良いのか、10年20年後に向けて計画的に公共施設マネジメントを進めていく予算になっているのか伺う。

公共施設マネジメントは今後、も計画的に実施

A 年度により、関連事業費の増減はありますが、今後も公共施設マネジメントを意識し、計画的に維持管理等を実施するとともに、災害に強いまちづくりを進めます。

地域の中小・小規模企業振興に対する取り組みは

Q 地域の経済基盤を支える存在の中小・小規模企業にも、もっと踏み込んだ支援策を行って、いくべきと考えるが、見解を伺う。

新たな税特例措置等で中小・小規模企業を支援

A これまでも様々な支援策を実施していますが、「掛川市

協働による中小企業振興基本条例」を制定し、振興計画の策定をはじめ、具体的な施策を検討します。また、平成30年度から、新たな設備投資に対する固定資産税を、3年間、税率をゼロとする特例措置を行う等、中小企業支援と地域経済の活性化を図ります。

新規の事業も多いが、今後力を入れていくべき施策は

Q 平成30年度当初予算において、新規に未就学児通院費が無料化となる見通しだが、今後の無料化の拡大をどのように考えているのか伺う。

県の動向も踏まえ、対象年齢の拡大を検討

A 市では、本年10月から未就学児の通院時自己負担額を無料とするための予算を計上しました。

さらに、県が、10月から高校生まで対象を拡大するための予算を計上したことから、内容を確認したうえで、対象年齢の拡大を検討していきます。

【その他の質問事項】
地区まちづくり協議会のさらなる活性化について

創 世 会

共に創る掛川



〈質問者〉
窪野 愛子
議員

超高齢社会に立ち向かう本市の対応は

Q 少子高齢化、人口流出、人口減少社会への対策が急務である。団塊の世代が全て後期高齢者となる2025年には、5人に1人が認知症と推計される。超高齢社会への今後の対応について伺う。

地域共生社会の実現を広い視野で検討

A 「人生100年時代未来構想会議」を立ち上げ、人生100年時代を見据えた、地域や家庭、働き方などに起こる大きな変化、生きがい、学び直しや、健康・医療・介護などの様々な課題に対し、地域共生社会の実現を広い視野から検討していきます。

地行政経営方針に基づくPDCAサイクルの確立は

Q 年度毎の実施事業は行政評価の結果に基づき、事業の選択と集中を図り、市民の多様なニーズに応え、満足度を高めていくことが必要と思うが、いかがか。

市民満足度を高める適切な事業選択で改善に繋げる

A 効果検証結果や中間評価を踏まえた上で、毎年適切に事業選択しています。今後は、できるだけ具体的な数値や市民満足度など、事業効果のパロメーターを見える形で示し、次の「改善」に繋げていきます。

茶エンナーレ事業の評価・検証は不十分では

Q 1ヶ月間開催で30万人の来場を想定したイベント。実行委員会の反省会を待たず、次回開催に向けた予算が計上されているが、事業の効果検証を行ったのか伺う。

事業の効果検証と長期的視点での準備も行う

A アンケートや振り返り会、広告換算費や経済波及効果などのデータも参考に、効果検証を行い、概ね良好な評価をいただきました。茶エンナーレ等の新規かつ全市的な事業は、常に検証が必要であり、かつ長期的な視点での準備も必要と考えます。

平成 30 年度当初予算の概要

「掛川の未来のために！子育て環境充実」

10 月から未就学児通院時自己負担額が無料に

2 月定例会では、30 年度の施策方針、予算・施策が示され、代表質問、一般質問、本会議・各常任委員会の議論・審査を経て、原案とおり可決されました。

当初予算の特色として、(仮称)大坂認定こども園(平成 31 年度開園予定)など 3 園の認定こども園の施設整備をはじめ、子ども医療費助成事業の未就学児通院無料化、認可保育所の増設、病児保育施設の整備、発達相談支援センターの開設など、掛川市行政経営方針の主要課題である「子育て支援」施策の充実を図ります。

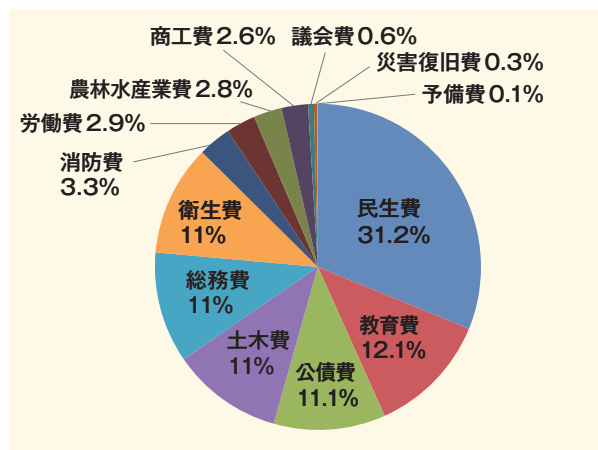
総額 773 億 9,706 万円

9 年ぶりに
前年度比規模縮小

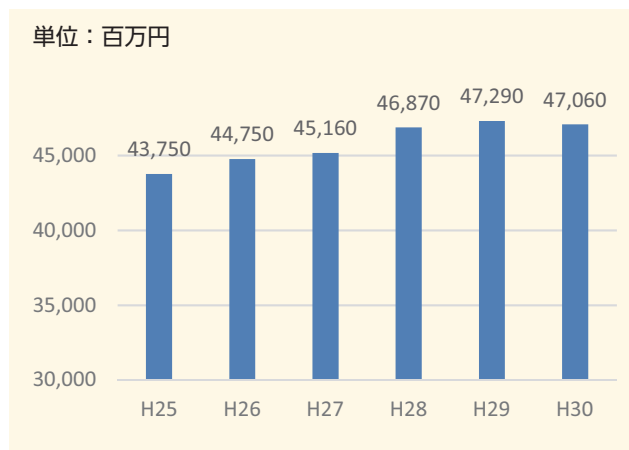
一般会計 470 億 6,000 万円(対前年比 2 億 3,000 万円 0.5%減)
特別会計 259 億 16 万円(対前年比 17 億 2,153 万円 6.2%減)
企業会計 44 億 3,690 万円(対前年比 6,822 万円 1.5%減)

※特別会計：国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険、公共下水道など 13 会計
企業会計：水道事業

歳出予算構成比(一般会計：目的別)



当初予算額の推移(一般会計)



予算の主な内容

「希望がみえるまち、誰もが住みたくなるまち掛川」の実現に向けて

重点施策1	掛川への新しいひとの動きをつくる	10億2,000万円
	・シティプロモーション推進事業	1,220万円
	・粟ヶ岳山頂休憩所整備事業	1億995万円
重点施策2	掛川にしごとをつくり安心して働けるようにする	10億5,000万円
	・地域経済活動活性化事業	3,649万円
	・日本一茶産地推進事業	7,362万円
重点施策3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	37億7,000万円
	・放課後児童健全育成事業	2億2,070万円
	・認定こども園施設整備事業	12億9,046万円
	・子ども医療費助成事業	4億6,874万円
重点施策4	明日の掛川をつくり豊かで潤いのある安心な暮らしを守る	64億1,000万円
	・海岸防災林強化事業・希望の森づくり推進事業	4億4,378万円
	・地区まちづくり協議会交付金	1億2,364万円

平成29年度一般会計補正予算（第5号）の概要

「学童保育所開設、特別支援学級増に対応」

補正額 **△14億6,581万円**

補正後の予算額 **464億331万円**

歳出（主な項目）

① 障害者自立支援給付支払等システム開発委託料	0万円 → 1,062万円（1,062万円追加）
② 西山口小学校学童保育所開設準備経費	0万円 → 610万円（610万円追加）
③ 放課後等デイサービス給付費	2億1,844万円 → 2億6,894万円（5,050万円増額）
④ 生活保護扶助費	5億2,305万円 → 5億4,711万円（2,406万円増額）
⑤ 小学校施設補修費 ※特別支援学級増（第一小、城北小、桜木小）	1億3,351万円 → 1億4,301万円（950万円増額）

※その他決算見込に合わせた精算的な減額

公共道路事業費 2億8,960万円 → 1億3,367万円（1億5,593万円減額など）

常任委員会の議論から

当初予算の審議に絡んで各常任委員会へ付託された、議案に対する
質疑等の内容を委員長報告より抜粋してお知らせします。

総務委員会

シティプロモーション推進事業について

Q シティプロモーションを支える担い手づくりをどのように進めるのか。

A 現在、35人に委嘱している「輝くかがわ応援大使」による、さまざまなメディアを使った情報発信や「掛川市のブランドメッセージ」を活用して、今後、市民とともに情報発信を強化していきたい。

ステンドグラス美術館管理費について

Q 小中高生向けに開催する体験教室の開催方法について伺う。

A 週末の土日を使い、午前と午後の合計4コマを設け、それを年4回開催する予定である。年間で延べ144名を予定している。

観光施設等維持整備費について

Q 粟ヶ岳山頂休憩所の具体的な内容について伺う。

A 屋上からの、富士山や遠州灘、さらには世界農業遺産の茶草場が一望できることや、おいしいお茶を堪能できるような施設になると考えている。完成は平成30年度内の予定である。

環境産業委員会

オリーブ産地化推進事業費について

Q オリーブの実の商品化に向けた施策、補助等は考えているのか。

A オリーブの加工を市内でもできるよう、新たに搾油機の購入に対する補助を開始する予定である。

空き家等適正管理マネジメント促進事業について

Q 業務委託内容の詳細は。

A 空き家実態調査の結果、特定空き家の候補が約70軒あり、その啓発指導や意向調査、また、緊急輸送路、通学路の重点エリアにおける10軒の特定空き家候補の詳細なカルテの作成及び除却交渉等を業務委託する。

掛川市地区計画等の案の作成手続に関する条例の一部改正について

Q 今回の改正でまちづくり協議会や地元からの地区計画の申し出ができるようになったのか。

A 地区計画を作成するという流れになった場合に、第5条第1項の「市内に住所を有する者」等、いずれかに該当する者が、市長に対して申し出ができるということを規定するものである。現在改訂作業中の都市計画マスタープランに「多様な主体による協働のまちづくり」の観点を盛り込んだため、今回改正するものである。

文教厚生委員会

松ヶ岡修復・活用実施委託料について

Q 委託料の具体的な内容は。

A 建物を修復するために構造や傷み具合の調査や実測、検査をして、詳細な実施設計書を作成する。

手話通訳者派遣事業費のタブレット端末導入について

Q 購入台数と用途は。

A 福祉課には、手話通訳できる職員がおらず、聴覚障がい者に対するコミュニケーション支援の一環として、遠隔地から対面型で手話通訳ができるよう、タブレット端末を1台導入する。

子ども医療助成事業について

Q 県は高校生まで拡大することになったが、当市の状況はどうなっているのか。

A 平成30年度予算には高校生分は計上していないが、今後の県の動向を注視し、検討していきたい。

意見書を提出

掛川市議会では、平成30年2月22日に『「県立横須賀高等学校の存続を求める意見書」の提出について』を全会一致で可決しました。本意見書は、鈴木正治議長と榛葉正樹副議長により、静岡県知事、静岡県教育委員会教育長、静岡県議会議長に対して、提出されました。



静岡県知事へ提出



静岡県教育委員会教育長へ提出



静岡県議会議長へ提出

横須賀高等学校の存続を求める意見書

静岡県教育委員会は、10年後の2028年度を見通して県立高等学校のあり方を示す、「ふじのくに魅力ある学校づくり推進計画」（静岡県立高等学校第三次長期計画）の案を策定した。少子化、人口減少社会における計画の必要性については一定の理解を示すことはできるものの、掛川市議会及び地域住民はこの案に大きな不安を感じている。

横須賀高等学校は、「明朗・誠実・敬愛」を校訓に、優れた感性と豊かな人間性を備え、地域のリーダーとなる人材の育成を目指し、郷土愛を土台として熱意ある教育を実践している。

また、生徒の約4割が掛川市南部の大東・大須賀地域から、同じく約4割が袋井市の浅羽地域や磐田市南部の福田・竜洋地域からと、全生徒の約8割が3市の南部地域から通学していることから、無くてはならない高校である。

卒業生の進路状況を見ると、約7割（進学者を含めば約9割）が地元の企業などへ就職していることから、地域活性化の拠点となる高校がなくなれば、地域の人材確保にも影響を及ぼすとともに、地域の経済発展や伝統文化継承の面でも大きな損失となる。地方創生を掲げている、政府の方針と逆行する結果になっていくことが予想される。

同校の郷土芸能部や剣道部をはじめとする諸活動は、地域の伝統文化を伝えるとともに、多くの卒業生や地域と深く結びついている。横須賀高等学校は、地域に愛され地域と共に生徒を育てていく教育がまさに実践されている教育機関である。

静岡県教育委員会の計画案の公表後、地域住民による「横須賀高校を守る会」が設立され、これまで培われてきた地域との強い絆を訴え、地方創生を進めるうえでの横須賀高等学校の存続を願い、横須賀地区を中心に1万人以上の署名が集まり、1月24日、県知事及び県教育長に提出された。

掛川市議会としても、横須賀高等学校は、地域に愛され「協働のまちづくり」の実践される重要な学校として、これからもこの地域になくてはならない学校と考えるものである。単に現状の生徒数や地図上における分布で見のではなく、通学の利便性や経済的負担等の問題もあることから、地域の実情に配慮し、高等学校が適正に配置されるような配慮が必要である。よって、静岡県及び静岡県教育委員会においては、中遠及び東遠地域の実情をご賢察いただき、計画案を変更し、横須賀高等学校を統合の対象外とするよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年2月22日
静岡県掛川市議会



創世会
松本 均

ラグビーワールドカップ 2019に仁藤の大獅子を

Q ラグビーWCエコパ会場のハーフトタイムショー等に、仁藤の大獅子を登場させれば、日本文化と掛川祭りを、全世界に紹介するチャンスだと思うが、市長の考えを伺う。

大獅子出演が実現すればPR効果絶大

A 本大会は、メディアへの露出やPR効果が絶大であり、獅子をイメージした公式マスコットと「仁藤の大獅子」が共演となれば、大きな話題にもなると思います。現状では、大会運営の詳細が明らかになっていませんが、実現できるよう地元関係者や静岡県、組織委員会へ強く働きかけていきます。

交通の利便性を活用した地域の活性化は

Q 県道磐田掛川線（通称…エコパ道路）は、東名掛川インターや掛川駅から比較的近く、利便性が向上していることから、沿線について住宅や商業地への開発等を、民間企業との協働により進める考えがないか伺う。

エコパ道路を活用した都市的土地利用の検討を進める

A 第2次掛川市国土利用計画や掛川市都市計画マスタープランでも、当該地域の立地条件を活かした有効活用について、検討を進めることとしています。各種の規制もありますが、都市的土地利用について、検討を進めます。



県道磐田掛川線



創世会
二村 禮一

認知症総合施策の推進は

Q 「認知症初期集中支援チーム」の配置により、症状の早期発見と適切な医療サービスにつながるのとことだが、地域支援体制の強化の考え方を伺う。

高齢者を地域全体で支える体制確保が重要

A 市では、地域で安心して暮らしたいと望んでいる高齢者を、地域全体で支える体制を確保することが重要だと考えています。そのため、地区福祉協議会、民生委員と地元自治会等との連携のもとで、住民主体で取り組んでいる「ふれあい・いきいきサロン」や日々安心・安全に暮らせる「見守りネットワーク」の体制づくりを支援していきます。

掛川版エンディングノートを活用するための取り組みは

Q 終末期の医療をめくつては、患者本人の意思が分からず家族が悩んだり、現場対応に苦慮したりするケースが多い。県内の自治体として初めて作成した「私の健康人生設計ノート（掛川版エンディングノート）」の周知と活用について伺う。

今後も出前講座等でノート活用を促す

A 「私の健康人生設計ノート」は、平成29年4月より希望者に配布をはじめ、現在まで約1万6千部配布しています。今後も、記入方法に関する出前講座を行い、ノートの活用促進を図ります。



掛川版エンディングノート

一般質問 Q & A

より実践的なシチズンシップ教育のために

Q 学生や若者の市民参画、市政参画の機会を増やすためには、地域社会と行政の協働が不可欠であるが、どのような取り組みを考えているか伺う。

若者の市政参画を促す会議形式を研究

A 子育て支援やしごとづくりなどは、若い世代が直面する課題であり、若者の参画が今後の有効策に繋がるだけでなく、若者が市政に興味を持つきっかけにもなります。現状、まだまだ不十分だと思いますので、今後はSNSを活用したテレビ会議等、参画しやすく、意見を出しやすい会議の形を研究しながら、実施していきます。

※シチズンシップ教育：市民としての資質・能力を育成するための教育。他人を尊重すること、個人の権利と責任、人種・文化の多様性の価値など、社会の中で円滑な人間関係を維持するために必要な能力を身に着けさせる。



共に創る掛川
藤澤 恭子

災害時備蓄品についても食物アレルギー対応の検討を

Q 近年、増加傾向にあるアレルギー疾患への対応も必要だと考える。そこで、災害時備蓄品の中に、乳児の生命を守る、粉ミルクとアレルギー対応ミルクの追加を検討すべきと思うが、いかがか。

早急に対応する

A 備蓄用粉ミルクは、賞味期限が1年6ヶ月と短く、毎年の更新が必要であることや、哺乳瓶や乳首など消毒の問題もあるため、災害時には協定企業から受け入れる計画としてきました。しかし、必要とする方たちへ迅速に届けなければ、生命に関わる問題でありますので、早急に対応します。

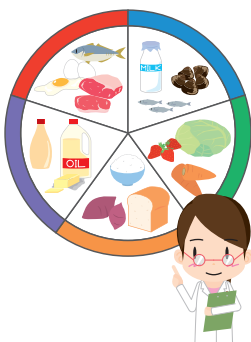


栄養教諭・学校栄養職員の増員を

Q 栄養教諭・学校栄養職員の時間外勤務は正と食育充実のため、非常勤栄養職員の人員配置を望むが、いかがか。

「食の指導」の実施方法を工夫し、負担軽減を図る

A 各給食センターの栄養教諭らが、小中学校に出向いて実施している「食の指導」について、平成30年度は、担当する小中学校枠の見直しを行ったり、実施日を学校ごとで1日にまとめたりして工夫し、栄養教諭らの負担軽減を図ります。



共に創る掛川
富田まゆみ

教職員が働き続けるための働き方改革を

Q 教職員の働き方改革のため、勤務実態把握と改善策を外部の視点で捉え、教育委員会主導で教育環境について保護者や地域の理解を得る努力や、部活動を学校から総合型地域スポーツクラブに移行する考えはないか伺う。



「～ある学校職員室の風景～ここから何が見えますか？」文部科学省 中央教育審議会 学校における働き方改革特別部会 妹尾昌俊氏 提出資料より

教職員の負担軽減に繋がる取り組みを進める

A 平成30年度は、非常勤職員の増員や職員が勤務しない日の設定等の取り組みを予定しています。

部活動については、今後は、掛川市の部活動ガイドラインを示すなど、保護者や地域の理解が一層得られるように努めます。

また、外部団体による地域部活「文化創造部」が始まりますので、その活動の状況を注視していきたいと考えます。

一般質問

Q & A



学童保育所として使用する
西山口小の元給食調理場

A

普通教室の使用も念頭におき、今後協議する

今後、学童保育へのニーズはますます増え

学童保育での普通教室の使用を考えているか伺う。
しかし、対処療法では限界にきている。

Q

西山口をはじめ、いくつかの学童保育所では、受入施設が不足している。そのため、保護者や地域の関係者が担当課と話し合いを重ね、調理室などを一時的に利用し、定員拡大を図ってきた。

学童保育での普通教室使用の考えは



公明党かがわ
山本行男

検討委員会の立ち上げは

Q

検討委員会を立ち上げ、普通教室の使用を検討していくべきと思うが、考えを伺う。

検討委員会を設置し、調査・検討する

A

平成30年度に、庁内関係課と、学校、学童保育指導員及び保護者等を交え、将来を見据えた中で、学童保育の普通教室を含む学校施設活用や活動の在り方について、検討委員会を設置し、調査・検討していきます。



ていくことが予想されますので、普通教室の使用も考えなければなりません。使用するにあたっては、様々な考え方がありますので、十分に協議していきます。

早急にはいしご車の配備を

Q

市内には、中高層建築物が204棟あり、はしご車配備の必要性が高まっている。市民の安全・安心を標榜するならば、はしご車の配備を急ぐべきと考えるが、見解を伺う。

平成32年度に、はしご車を配備・運用予定

A

市内の中高層建築物数は、年々増加傾向にあり、消防力整備指針に照らし合わせても、はしご車の配備は、必置の状況にあります。

そのことから、平成32年度に、はしご車を配備し運用を開始する予定です。



創世会
藤原正光

避難所のトイレ確保は強い問題意識を持って捉えるべき

Q

国土交通省より「マンホールトイレの整備・運用のためのガイドライン」が示され、今後、全国で整備推進が図られる。そこで、マンホールトイレの整備について、所見を伺う。

仮設トイレの設置計画と合わせて検討

A

マンホールトイレの設置には、下流部の下水道管路や処理施設が被災していないことと、上流部に水源の確保が必要となることから、今後、仮設トイレの設置計画と合わせて検討していきます。



広域避難所にある災害用マンホールトイレシステムを知らせる看板

一般質問

Q & A

都市公園条例に規定の使用料を近隣市並みに引き上げ

至誠の会
鷲山 喜久

Q 森林果樹公園、大池公園等の都市公園の使用料は、1㎡あたり、一カ月30円である。袋井市では、同じ条件で185円である。使用料を他市並みに引き上げる考えはないか。

使用料の見直しは、現状、考えていない

A 当該店舗等を設置すること、公園機能が高まり、結果的に、公園及び体育館の利用者増にも繋がっています。使用料を含め、民間事業者を導入しやすい環境を整える観点から、使用料の見直しは考えていません。

松葉の滝、菊水の滝周辺の安全と景観の確保を

Q 2つの滝は、県の「みずべ100選」になっている。それにふさわしくなるよう、松葉の滝は、道中の安全対策、風倒木の撤去と案内看板の設置を、菊水の滝は、滝壺周辺を整備する考えはないか。

早急に整備し、地元まち協との協働事業で管理

A 松葉の滝、菊水の滝について、現状、危険な箇所や法面の荒廃などもあります。

早急に、整備を実施し、以後は、地元のまちづくり協議会と市との協働事業として管理を進めていきます。



滝壺周辺の整備が必要な「菊水の滝（海老名の滝）」

お祭りを活用した掛川市ならではの地域振興策は

創世会
小沼 秀朗

Q ラグビーワールドカップ開催日は市内祭典日と重なる。東京五輪の年に市政15周年事業や祭典継承を考えるシンポジウム等を開催し、全国、世界へ市内祭礼文化を発信して観光誘客に繋げる策はないか。



市内祭礼文化が結集した市制10周年事業（平成27年）

広域連携で取り組む

A ワールドカップの情報と掛川市の祭典情報を連携させることで、相乗効果が生まれる形を検討し、県や中東遠地区と連携して誘客に繋げていきます。また、お祭りの歴史を調査し、国の重要無形民俗文化財指定に向けて取り組み、成果を踏まえながら情報発信して行くような機会を研究していきます。

会を研究していきます。

スポーツ施設と医療の連携で魅力あるまちづくりを

Q エコパ、つま恋、いいの広場等の市内のスポーツ関連施設と医療機関との異種機能連携をとりスポーツ公園の充実と健康、医療を結んだまちづくりが図れないか。

異職種機能の連携策を検討

A つま恋はスポーツ広場、レストラン、宿泊施設を備えています。健康効果が高い「掛川深蒸し茶」を飲み、希望の丘で健康を学んだり、中東遠総合医療センターが民間宿泊施設と連携した1泊の人間ドックを実施するなどの官民の連携も掛川市の大きな魅力の一つと思っています。

市、民間のそれぞれの職種、いろいろなセクションが連携して、一つの大きな目標に向かって進むよう、異職種機能の連携策の検討をしつかり進めていきたいと思っています。



共に創る掛川
鈴木久裕

共同住宅等の合併処理浄化槽への切替補助を

Q 市が浄化槽市町村設置推進事業を今後実施しないことになり、共同住宅等の単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への切り替えに対する促進制度がなくなった。これらにも補助すべきではないか。

事業者への補助は、計画の見直しとともに研究

A 市では、合併処理浄化槽の設置に対し、主に個人住宅等として補助金を交付していますが、まずは個人に対する補助を優先し、公衆衛生の向上及び生活環境の保全を促進することを目指しているためです。

事業者に対する補助については、補助拡充による効果や新たな負担の検討等課題が多いことから、今後、生活排水処理実施計画の見直しと合わせて研究していきます。

非常勤職員の処遇改善を

Q 市の非常勤職員の雇用契約は1年間で、一般の職場では更新が4回（勤続5年）限りで雇い止めになっている。安心して同じ職場に勤務を続けられるよう、更新回数制限は見直すべきではないか。

今後は、より柔軟な運用を検討

A 市民に対する市役所における就労機会の提供と、人員配置の固定化による弊害を防ぐため、掛川市を含む多くの自治体で更新回数の制限を設けています。しかし、勤務評価などの客観的な能力実証に基づき、高い職務遂行能力が認められる職員については、より柔軟に更新を行えるような運用を検討していきます。

【その他の質問事項】

- ・労働政策について
- ・市役所職員の働き方改革について



日本共産党
勝川志保子

待機児をなくし、女性の就労を保障する子育て支援策を

Q 来年度申請で認可保育園の入園不承諾が272人を数え、対応策をとっても4月に待機児が出るのが確実となった。人手不足の中で、女性労働は社会を支える大切な力でもあ。就労率の上昇に見合う保育園の整備など、子育て世代への緊急支援策が必要ではないか。



大勢の参加で開かれた保育園入所状況おはなし会

子育て世代のニーズにできる限り対応

A 来年度の対策として、公立幼稚園2園での預かり保育を拡充するほか、協働保育園等の保育料助成拡充を図ります。

中長期的な対策としては、施設整備を含めた子ども・子育て支援事業計画の見直しを行っています。

持続可能なエネルギー政策の展開で原発の再稼働に対峙を

Q バイオマス発電・小水力発電・太陽光発電などの持続可能なエネルギー政策の展開で、危険な原発の再稼働に対峙する気はないか。

再生可能エネルギーで原発依存分を賄える見込み

A エネルギーに関し、東日本大震災前の段階で、原発に依存していた、市内の電力使用量の11%相当を、平成37年度までに、風力や太陽光発電などの再生可能エネルギーで賄う計画を進めており、現段階では達成可能な状況です。

なお、原発に関して、浜岡原発において万全な安全対策が完了し、将来にわたり安全・安心が確保され、国の原子力規制委員会と中部電力が市民に対し、しっかりと説明し、市民の理解が得られなければ再稼働出来ないという考えに変わりはありません。

【その他の質問事項】

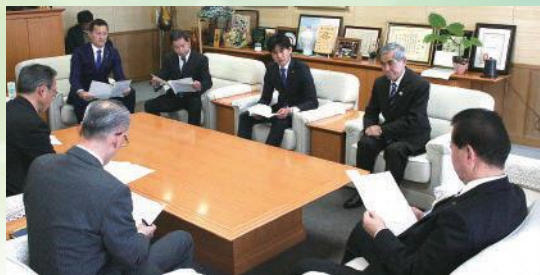
住民の権利と地域コミュニティを守る公共施設マネジメントを

2月定例会における議案の審議結果一覧

議 案 名		議決内容
平成30年度当初予算	平成30年度掛川市一般会計予算について	賛成多数可決
	平成30年度掛川市国民健康保険特別会計予算について	賛成多数可決
	平成30年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計予算について	賛成多数可決
	平成30年度掛川市介護保険特別会計予算について	賛成多数可決
	平成30年度掛川市公共用地取得特別会計予算について	全会一致可決
	平成30年度掛川駅周辺施設管理特別会計予算について	全会一致可決
	平成30年度掛川市簡易水道特別会計予算について	全会一致可決
	平成30年度掛川市公共下水道事業特別会計予算について	全会一致可決
	平成30年度掛川市農業集落排水事業特別会計予算について	全会一致可決
	平成30年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計予算について	全会一致可決
	平成30年度上西郷財産区特別会計予算について	全会一致可決
	平成30年度桜木財産区特別会計予算について	全会一致可決
	平成30年度東山財産区特別会計予算について	全会一致可決
条 例	平成30年度佐束財産区特別会計予算について	全会一致可決
	平成30年度掛川市水道事業会計予算について	全会一致可決
	掛川市協働による中小企業振興基本条例の制定について	全会一致可決
	掛川市職員の退職手当に関する条例等の一部改正について	全会一致可決
	掛川市部設置条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市職員定数条例の一部改正について	賛成多数可決
	掛川市国民健康保険保険給付等支払準備基金条例等の一部改正について	全会一致可決
	掛川市介護保険条例の一部改正について	賛成多数可決
	掛川市手数料条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市遺児等福祉手当支給条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市立幼稚園保育料等徴収条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市地区計画等の案の作成手続に関する条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市特別用途地区建築条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市営住宅管理条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市都市公園条例の一部改正について	全会一致可決
平成29年度補正予算	掛川市立学校設置条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市火災予防条例の一部改正について	全会一致可決
	平成29年度掛川市一般会計補正予算（第5号）について	賛成多数可決
	平成29年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	賛成多数可決
	平成29年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第3号）について	全会一致可決
	平成29年度掛川市介護保険特別会計補正予算（第3号）について	賛成多数可決
	平成29年度掛川市公共用地取得特別会計補正予算（第2号）について	全会一致可決
その他	平成29年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算（第1号）について	全会一致可決
	平成29年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）について	全会一致可決
	平成29年度掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）について	全会一致可決
	平成29年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計補正予算（第2号）について	全会一致可決
	東遠工業用水道企業団規約の変更について	全会一致可決
	掛川市道路線の廃止について	全会一致可決
	掛川市道路線の認定について	全会一致可決
	掛川市道路線の変更について	全会一致可決
	公の施設の指定管理者の指定について（掛川市自転車等駐車場）	全会一致可決
	公の施設の指定管理者の指定について（掛川市駅周辺駐車場）	全会一致可決
人 事	公の施設の指定管理者の指定について（掛川大手門駐車場）	全会一致可決
	公の施設の指定管理者の指定について（掛川城公園駐車場）	全会一致可決
	公の施設の指定管理者の指定について（掛川市再開発住宅）	全会一致可決
	公の施設の指定管理者の指定について（掛川市住環境整備モデル住宅）	全会一致可決
	掛川市教育委員会委員の任命について	全会一致同意
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	全会一致同意
議 発	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	全会一致同意
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	全会一致同意
	掛川市教育委員会教育長の任命について	全会一致同意
	「横須賀高等学校の存続を求める意見書」の提出について	全会一致可決
議 発	掛川市議会委員会条例の一部改正について	全会一致可決
	観光振興特別委員会の設置について	全会一致可決
	防災意識向上特別委員会の設置について	全会一致可決

掛川市議会政策提言

議会報告会の本年度のテーマの一つを「迫り来る豪雨災害に備えて」とし、市民の皆さんからいただいたご意見を基に、活発な議員間討議を行い、これを取りまとめ「日本一防災意識の高いまち掛川を目指すための提言」として、平成30年3月22日に掛川市長へ提出しました。



松井市長（右）に政策提言する様子



松井市長（左）に提言書を手渡す鈴木議長ら

日本一防災意識の高いまち掛川を目指すための提言

はじめに

昨今の自然災害は、季節や場所を選ぶことなく発生するため、市民の不安材料の一つとなっている。豪雨による土砂災害や河川の氾濫、さらに南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え、万全な安全対策を講じることは急務である。

まずは、市民の意識改革に取り組み、自助努力を促すことが大事である。市民の防災意識を向上させることで家庭での対策が推進され、それが、地区まちづくり協議会での大きな取り組みへとつながり、全市的に波及していくと考える。

議会では、議会報告会での市民の意見やこれまでの豪雨災害の経験を踏まえ、日本一防災意識の高いまちを目指し、掛川に住む市民が安心して暮らせるように、次の4点について提言する。



海岸防災林造成のための植樹

1 市民の防災意識の向上について

- (1) 家庭の避難計画に基づいた行動が取れるよう、啓発を強化するとともに、避難訓練を実施すること。
- (2) 掛川市が主催するイベントでは、避難口、避難場所や避難行動などを参加者に周知し、発災時に的確で迅速な初期行動が取れるよう努めること。

2 災害情報の収集について

- (1) 地元住民が危険と判断する場所に、河川の水位センサー（カメラ付き）の増設を検討すること。
- (2) 掛川市のホームページに、気象庁の情報などをリンクするよう検討すること。
- (3) 災害時の情報収集が容易に、かつ正確に出来るよう、タブレット端末やドローン等、ICT機器の導入を検討すること。

3 災害情報の発信について

- (1) 降雨時、同報無線屋外子局（パンザマスト）では聞こえない可能性があるため、早急に防災ラジオの全戸配備を完了させること。
- (2) パンザマストの使用規定を定め、いつでも利用出来るよう、地区ごとの指導、訓練を行うこと。
- (3) 市民と広く災害情報を共有できるSNS等を活用して、より早い情報発信を検討すること。

4 地域との事前対策について

- (1) 地区まちづくり協議会等で地域ごとの危険箇所を把握し、住民が共有する避難計画を策定するよう支援すること。
- (2) 地域住民と危険箇所を調査し、官民協働によって解決策を検討すること。また、危険箇所から発生する河川の浚渫土や法土を海岸防災林強化事業に活用すること。

特別委員会委員長報告

特定の課題を審査するために設置された特別委員会は、それぞれのテーマに基づき、1年間施策の検討を行ってきました。その内容を抜粋して掲載します。

議会活性化特別委員会

委員長
山 本 行 男

主に2つのテーマについて、1年間協議し、次の通りまとめました。

(1) 常任委員会における政策立案サイクルについて

1年間かけて調査研究するテーマを設定し、閉会中も所管事務調査を積極的に行うこととする。

(2) 行政の事務事業を評価するための仕組みについて

① 市で行っている約1,100件の事務事業全てについて、予算編成時に「事業の成果と指標」を明示し、最終達成目標・目標年度・当年度目標を設定して予算書に記載すること。そして、決算審査時には、すべての事務事業について成果の達成状況を明示すること。

② 議会は、この仕組みを通して審査し、評価していくものとする。

掛川市議会が、市民の負託に応える責任ある議会の確立に向け、日々議会改革に取り組むことを望み報告とします。



行政視察で行ったワークショップの様子
(早稲田大学マニフェスト研究所)

公共施設マネジメント推進特別委員会

委員長
山 本 裕 三

特別委員会として、3つの成果がありました。

1つ目は、13の公共施設をモデルケースとした現地調査により、公共施設マネジメントの課題を明確化したこと。

2つ目は、視察や議員間討議により、今後策定される公共施設再配置計画の在り方を議会として提示したこと。

3つ目は、議会報告会で公共施設インフラの老朽化が与える影響を広くお伝え出来たこと。

今後の公共施設マネジメントの更なる推進を通し、将来にわたり安心安全が守られることを望みます。



市内公共施設の現地視察の様子

議会日誌

1 月

- 15日(月) ○静岡県西部地区市議会議長協議会(島田市)
- 16日(火)～17日(水)
○議会運営委員会行政視察(滋賀県大津市、愛知県半田市)
- 18日(木) ○第1回政策討論会全体会議
○議員研修会(原子力防災センターほか)
- 19日(金) ○市議会全員協議会
- 22日(月) ○静岡県地方議会議長連絡協議会(静岡市)
- 23日(火) ○掛川市・袋井市合同議員研修会
- 24日(水) ○文教厚生委員会協議会・現地視察
- 25日(木) ○第8回議会活性化特別委員会
- 26日(金) ○中東遠地区市議会議長協議会(菊川市)

○第8回公共施設マネジメント推進特別委員会

2 月

- 1日(木) ○静岡県市議会議長会定期総会(牧之原市)
○議会運営委員会
- 2日(金) ○小笠老人ホーム施設組合議会
○東遠工業用水道企業団議会
- 5日(月) ○東遠広域施設組合議会
- 6日(火) ○第278回東海市議会議長会理事会(三重県四日市市)
- 7日(水) ○東遠地区聖苑組合議会
- 8日(木) ○太田川原野谷川治水水防組合議会
○中東遠看護専門学校組合議会
○浅羽地域湛水防除施設組合議会
- 9日(金) ○掛川市・袋井市病院企業団議会
- 13日(火) ○市議会全員協議会
- 14日(水) ○議会運営委員会
○議員懇談会

○政策討論会幹事会

- 15日(木) ○全国市議会議長会評議員会(東京都)
- 16日(金) ○掛川市・菊川市衛生施設組合議会
- 19日(月) ○東遠学園組合議会
- 21日(水) ○第2回政策討論会全体会議
- 21日(水)～3月22日(木)
○掛川市議会第1回(2月)定例会
- 28日(水) ○議会だより編集特別委員会

3 月

- 6日(火) ○議会運営委員会
- 8日(木) ○第3回政策討論会全体会議
- 16日(金) ○大井川広域水道企業団議会
- 22日(木) ○議会運営委員会
- 27日(火) ○議会だより編集特別委員会

4 月

- 4日(水) ○議会だより編集特別委員会

6月定例会の予定

6 月

- 11日(月) 本会議
(議案の提案説明)
- 25日(月) 本会議(一般質問)
- 26日(火) 本会議(一般質問)
- 27日(水) 本会議(一般質問、議案質疑、委員会付託)
常任委員会

7 月

- 5日(木) 本会議(委員長報告、質疑、討論、採決)

傍聴席

「ママ達の議会傍聴座談会」

リカ：議場に初めて入ったけど、市役所の6階にあんな風に存在していたなんて知らなかった。思ったより傍聴席の数が少なかったかな。

ゆか：そうそう。議員席が目前にあって一体感があつたね。それと、議員さんがあそこまで私たちの声を一生懸命に代弁してくれているとは思わなかった。ちよつと感動したよ。いろんな議員さんを見たいし、また傍聴したい！

あすか：無料の託児サービスがあるのも初めて知ったよね。1歳の娘は最初大泣きしたけど、ベテランの託児サポーターさんで安心して預けられたよ。待機児童問題とか自分に直接関わることが議論されているから、子育て世代や若い人たちも気軽に議会に行ってみてほしいと思った。

リカ：あの場において傍聴するだけでも大きな役割になるし、市政を動かす第一歩かもしれないね。

ゆか：うん、カケシヨクでお昼食べて、またみんなで議会へ行こう！

リカ 小林理香(新町)
あすか 堤明日香(南西郷)
ゆか 松浦裕香(領家)

編集後記

3月7日、名誉市民の榛村純一市長が逝去され、翌日の本会議開会前に議場で黙祷が捧げられた。

合併前の掛川市で、7期にわたリ市長を務められ、全国で初めて「生涯学習都市宣言」をするなど、地方分権の実践者として知られた。

事実、委員会の行政視察等でも他市を訪れると「先進地である掛川市さんに教えることなどなく、むしろ私たちのほうが掛川市から学びたい」との言葉を何度もいただいた。

新幹線駅の開業や東名掛川IC、工業団地など、榛村氏が蒔いてくれた種が実り、私たちはその果実の恩恵にあずかっていることに感謝しなければならぬ。

政治は10年20年先に責任を持たなければならぬと言ったが、改めてそのことを教えてくれた政治家である。

議会だより編集特別委員会
委員 山本行男

お詫びと訂正

「かけがわ市議会だより」第62号の9ページで掲載した嶺岡慎悟議員の一般質問中の語句に誤りがありました。

(誤)エコバイパス

(正)県道磐田掛川線

(通称:エコバ道路)

お詫びして訂正いたします。